

# ステークホルダーエンゲージメント

---

- 230 [ステークホルダーエンゲージメント](#)
- 232 [株主・投資家](#)
- 234 [お客様](#)
- 236 [NGO/NPO、国際機関](#)
- 238 [地域社会](#)
- 241 [ビジネスパートナー／コンソーシアム](#)

ステークホルダーエンゲージメント

# ステークホルダーエンゲージメント

持続的な競争力および企業としてのレジリエンス（強靱性）の創出とステークホルダーとの信頼関係を構築しています。

社会課題解決を基本とした事業運営に向けては、多様なステークホルダーの期待や要望を適切に把握・反映することを重視し、持続的な競争力および企業としてのレジリエンス（強靱性）の創出を図るとともに、信頼関係の構築に努めています。

ステークホルダーエンゲージメント<sup>1)</sup>は、さまざまなステークホルダーの皆様とエプソンを結ぶ重要な架け橋です。エプソンは、全てのステークホルダーの皆様に以下の3つの価値を提供します。



また、社会支援活動については以下の3つの基本的な考え方に基づき、環境、教育・文化、生活・地域を重点活動分野として実施します。

- SDGs達成に貢献します
- 持続可能でこころ豊かな社会の実現を目指します
- 世界の各地域に根差した活動を展開します



<sup>1)</sup> 企業とステークホルダーの対話。企業が活動や意思決定を行う上で、ステークホルダーの関心事項を理解するために行われる取り組みを指します。

### 株主・投資家



適切な事業運営や投資判断につながる良好なコミュニケーションを構築を目指し、積極的に機関投資家や個人株主との対話を実施します。さらに市場要請に応じた情報の公開や対話手段の強化を行います。

### お客様



お客様に喜ばれ信頼される商品・サービスの創出はもちろん、さらなる改善に向けお客様とのコミュニケーション強化や共同活動による価値創造に挑戦します。

### サプライヤー



サプライヤーは、経営理念実現のための重要なパートナーであり、信頼関係を構築することにより、共存共栄を目指しています。主要拠点がある長野県や海外の主要生産拠点では、毎年サプライヤーの皆様には事業方針や調達方針などを共有する説明会を開催しています。また説明会では、経営層がサプライヤーの皆様の声を直接聴き、相互理解を深めることで、連携強化を図っています。サプライヤーの評価も毎年実施し、改善活動を支援することで、社会的責任の遂行につなげています。

### 従業員



企業経営を支える従業員がいきいきと活発に働ける環境を目指し、組織風土改革を進めます。

- 風通しの良い自由闊達なコミュニケーションに向けた対話会
- 組織風土アセスメント、こころの健康診断
- 社長メッセージの配信と従業員からの意見・感想の収集

### ビジネス パートナー/ コンソーシアム



社会課題を解決し、持続可能な社会を実現するには、それぞれ得意分野を持ったパートナーとの連携が欠かせません。これまで以上に共創活動を強化し、広くパートナーシップを構築します。

- パラレジンコンソーシアム
- スマートシティ会津若松
- 北九州イノベーション拠点
- 東京渋谷ポイント0オープンプラットフォーム
- 信州大学(小型規模循環型リビングイノベーション) など

### 地域社会



従来の単なる寄付や支援だけでなく、世界の地域や団体と連携し、持続的な共存につながる活動を続けます。

- トビタテジャパン留学生支援、セイジ・オザワ松本フェスティバル、美術館支援、写真コンクール
- 松本山雅FC、地域清掃、祭り、諏訪湖花火、チカラン日本人学校設立協力
- エプソン国際奨学財団、エプソン情報専門学校運営を通じた学生支援、地域人材の育成

### NGO/NPO、国際機関



持続性を伴う社会貢献 (Value Share活動) を目指し各種団体との価値創造活動をグローバルに展開します。

- 花フェスタ、野鳥の会、植林、珊瑚移植、児童への環境教育、海洋ゴミ回収プロジェクト支援、インクカートリッジ回収
- ゆめ水族園、献血、障がい者スポーツ支援(知的・身体)、各地域病院支援
- ウクライナ難民支援、JICA包括連携協定締結、アジア・アフリカ研修生受け入れ、JICA駒ヶ根隊員教育支援、COVID -19に伴う各種支援

ステークホルダーエンゲージメント

株主・投資家

株主・投資家との対話

-適切な投資判断を促し、経営の質向上につなげる-

IR活動・SR活動の方針・考え方

エプソンは、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を実現するためには、あらゆるステークホルダーとの誠実な対話を通じ、経営の透明性を高め、長期視点での信頼関係・パートナーシップを構築し、強化していくことが、重要かつ不可欠であると認識しています。その取り組みの一環として、株主・投資家等に対する情報開示方針を明確にして、IR活動やSR活動の更なる充実を図り、建設的な対話を実施しています。

株主・投資家等との対話は、代表取締役社長、IR・SR担当役員、またはIR・SR担当部門の管理職等が行うことを基本とし、社外取締役を含む取締役も合理的な範囲で対応しています。対話を通して株主・投資家の皆様からいただいたご意見を都度経営層にフィードバックし、経営の質を高める取り組みに活かしています。

私たちが直接お会いできる株主・投資家の皆様の数は限られていますが、より多くの方に当社の考えを伝えるべく冊子やWebサイトなど、ツールを通じたコミュニケーションを積極的に行っています。特に、多くの方々に、同時に情報を伝えられるWebサイトの作成には力を入れ、IR情報だけでなく、サステナビリティ情報も常に最新の情報に更新しています。

アナリスト・機関投資家向けミーティング実績<sup>1</sup>

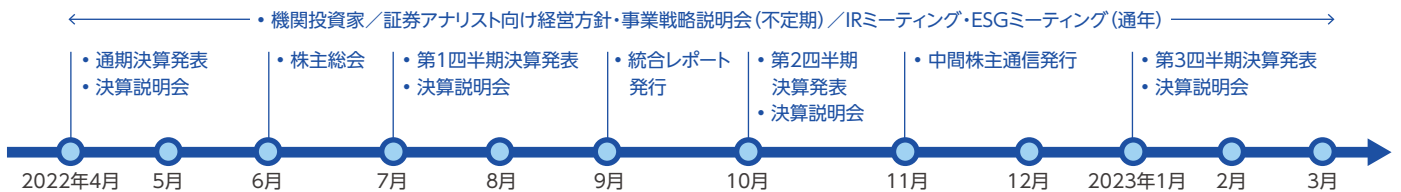
2022年度実績

総ミーティング回数 **269**回  
 ▶国内 **142**回 ▶海外 **127**回

<sup>1</sup> 対面による取材・ミーティングの他電話やオンラインによるもの、説明会などを含みます。

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
国内	147回	153回	135回	142回
うちSR面談	11回	13回	6回	18回
海外	104回	82回	104回	127回
合計	251回	235回	239回	269回

年間のIR活動サイクル



その他のIR関連活動実施内容

- IR・サステナビリティ関連ツールの改善・情報充実検討
- 株主総会関連書類の早期開示、記載充実
- 開示資料の英訳による海外投資家への情報提供
- サステナビリティウェブサイトの更新・内容充実
- コーポレートガバナンス・コードへの対応と対応内容の開示

## 2022年度のエンゲージメント活動

### ■ エプソンの成長戦略への理解を深めていただくイベントを開催

より多くの株主・投資家の皆様にエプソンの成長性を伝えるため、説明会等のイベントを開催しています。2022年度は、Epson 25 Renewedにおいて成長領域と位置付けているオフィスプリンティング事業の戦略説明会、足元で関心が高まっているマイクロデバイス事業の説明会、パーパスとエプソンのサステナビリティ経営を伝えるESG説明会を実施しました。また、感染症対策を講じた上で商業・産業プリンティングの施設見学会なども実施し、現場・現物を通じて、エプソンの変化を感じていただけるイベントも再開しました。

### ■ 機関投資家の皆様と社外取締役の対話会を開催

2018年度、2021年度の実施に引き続き、2023年3月、当社社外取締役5名全員が参加する機関投資家の皆様との対話会をオンラインで開催しました。対話会では、機関投資家の皆様から寄せられたESGを中心としたさまざまなご質問に各社外取締役がお答えし、活発な議論が交わされました。このような場を設け、社外取締役が機関投資家の皆様との相互理解を深めることは、当社取締役会の実効性向上につながります。また、議論の内容をできるだけありのままに公開することは、当社のステークホルダーからの信頼獲得につながると考え、今後も実施を継続していく予定です。

### ■ エプソンの中長期的な企業価値向上を目指した対話

前年度(2021年度)の対話や社会動向から得られた課題に対して経営改善を行い、以下をはじめ、その進捗を統合レポート2022などで開示しています。

- パーパスの制定
- 人材戦略・知財戦略
- サステナビリティ重要テーマのKPIの設定と役員報酬との紐づけ
- TCFDにおけるリスク・機会の2021年度実績

統合レポートなどの開示情報に基づいて、2022年度に株主・投資家の皆様と対話した結果、これまでの経営改善に向けた取り組みについて評価いただくとともに、さらなる改善に向けた示唆として、以下の貴重なご意見をいただきました。

- パーパス制定の次のステップとしての従業員への浸透
- 環境貢献商品の事業貢献度の可視化
- 人的資本経営のさらなる推進 など

対話結果は、サステナビリティ戦略会議および取締役会で報告し、さらなる経営改善に活かしています。さらに、決算発表に対する資本市場の反応を経営会議で報告し、また、戦略説明会や決算発表後に株主・投資家の皆様から直接いただくご意見やご要望も週報などで社内共有することで、投資家の関心事項や懸念点への理解を進め、事業活動や開示向上に向けた取り組みの参考にしています。

## ステークホルダーエンゲージメント

### お客様

#### お客様と連携した価値創造

-お客様に喜ばれ信頼される商品・サービスの創出-

#### 阪急阪神百貨店様／捺染とプロジェクションで売場やイベントを革新

##### デジタルが可能にした新しい顧客価値の創造

阪急阪神百貨店様（小売）とデジナ様（捺染業、呉服製造・販売）と連携して開催したイベント「KIMONOクリエイション」で、エプソンのデジタル捺染とプロジェクションを活用。一般公募で選出された浴衣デザインをオンデマンドで印刷。個性あふれる浴衣デザインをバーチャル展示することで、展示サンプルの数を抑えた省資源な売場を実現しました。

またクリエイターがデザイン作品を1点から実際に創れる喜び、多彩なデザインの中からお客様がデザインを選べるお買い物の楽しみを、エプソンのデジタル技術が可能にし、販売につなげることができた事例です。

##### 立ち止まっていたく

株式会社阪急阪神百貨店  
 インターナショナルファッション販売・呉服営業部  
 マネージャー  
 山本 英信 様



小売店ではお客様に立ち止まっていたくことが重要です。VP (Visual Presentation) といわれる、小売店においては定石となる、この立ち止まる行為において、プロジェクションの効果は抜群です。また、プロジェクションは売場で魅せる効果だけでなく、展示における廃棄物を削減するという環境面での効果もあります。

また、デジタル捺染という技術は近年縮小が続いている呉服業界に、新たな製品カテゴリや価値をもたらす可能性がある技術として期待しています。

#### 店舗・売場づくりの新たな形

今回の売場展示でプロジェクションを利用した背景には、イベントや店舗・売場づくりによって廃棄される多くの資源を少しでも削減したいという主催者様の思いを反映しています。

このイベントでは、入賞作品6点を1着ずつエプソンのデジタル捺染機で印刷した浴衣を展示、また応募いただいた約90点の中からもお客様がデザインを選んで購入できるよう、右記の通り浴衣デザインをプロジェクションマッピングで展示しました。このように、売れ残りを無くし、限られたスペースで効果的に空間演出できるよう、お客様の要望や、将来の展示のあり方を共に検討し、売場における新たなコミュニケーションの形を実現しました。

こうした取り組みは、店舗装飾や、アパレルのデザインから商品化、販売における新たなスタイルと価値を生み出すことにつながる大切な活動です。



## 世界はもっと広がる

株式会社デジナ  
居内 久勝 様



簡単に募集したイベントですが、100点近い応募がすぐに集まりました。デジタルで繋がると、今回のような創出活動も今までの常識を超えて広がることを改めて認識しました。こうした活動にはもっと大きな可能性があることも実感出来たので、少しずつですが更に活動の範囲を広げるような取り組みをしたいと思います。デジタルとの連携で今や貴重な財産である職人を守るような活動や、伝統の技をデジタルプラットフォームに残して後世に繋げるような活動も出来ると思います。

## 対話と創出活動

デジタル印刷やプロジェクションはこれまでオフィス中心だった用途が急拡大し、今まで思いもよらなかった用途が次々に生まれています。

私たちエプソンは、こうした無限の可能性を見出すため、これまで以上にお客様やビジネスパートナー様との対話を大切にしています。今回の阪急阪神百貨店様、デジナ様との連携もこうしたお互いの想いを正直に語り、真摯に受け止めて検討するという地道な活動が具現化したものです。

デジタル社会においては、新たな価値創出がふとした思い付きで生まれ、瞬く間に新たなビジネスモデルや市場が創出されることは珍しいことではありません。目まぐるしく変化する時代だからこそ、お客様やパートナー様の想いに耳を傾け、より良いモノづくりや、新たな文化の創出を続けたいと思います。



## ステークホルダーエンゲージメント

## NGO/NPO、国際機関

## NGO/NPO、国際機関

-持続性を伴う社会支援 (Value Share 活動)-

## ■ トンガ / JICA: バナナペーパー活用 (廃棄される資源を財源に)

## ■ 活動内容

エプソンは、独立行政法人国際協力機構 (JICA) の青年海外協力隊員たちが企画したオリジナル絵本を届ける活動に感銘し、マイクロピエゾ技術を活用して印刷、製本する無償協力を実施しました。完成した絵本は、JICAおよびトンガ大使館を通じて、7月上旬にトンガ王国の学校に配布され、SDGsに関する教材として使用されています。また、絵本の紙に採用したバナナペーパーの調達先を通じて、紙の購入金額の1%が自然環境保護団体に寄付されます。エプソンは、今後も人々の思いに寄り添い、夢をカタチにしていきます。

## ■ 協働パートナー

- JICA 駒ヶ根訓練所 トンガ隊員
- トンガ大使館
- One Planet Café
- エプソンミズベ (株)
- セイコーエプソン (株)

## ■ 具体的な活動

- SDGs視点からのトンガオリジナル絵本の制作
- 日本政府 / トンガ王国との連携
- 印刷メディアのバナナペーパー提供
- インクジェットプリンターによる印刷
- 全体企画とコーディネート

## ■ 解決する社会課題と価値

## 具体的な活動・アプローチ

JICAトンガ隊員たちと一緒に議論を重ねる中、印刷を行うハード面の取り組みのみならず、廃棄物が価値を生むものづくりまで思いが及び、バナナの生産量より10倍多く廃棄されるバナナの木 (実際は茎) の繊維を利用して作成されたバナナペーパーやオフィスで使用された古紙を再生した紙 (当社乾式オフィス製紙機PaperLabで作成) を採用することでアフリカ地域を含む循環型社会の実現に貢献。

## 価値提供ポイント

- JICA 海外協力隊員たちの思いをカタチにすることづくり
- 自社保有の印刷・紙再生技術を活用したSDGs教育コンテンツの提供
- バナナペーパーの調達先を通じて購入金額の1%を環境保全団体に寄付





## メキシコ／Bee2Be: 絶滅危惧動物保護と経済活動

### 活動内容

NPOのBee2Be(メキシコ)が始めたメリポナ蜂という絶滅危惧種を保護する活動を支援しています。蜂を保護する活動の財源として、蜂蜜などの販売に加え、デザイナー(Anna Fusoni氏)と連携して蜂をモチーフとしたデザインのスカーフなどを製作・販売し、周知活動にもつなげています。また、この活動は現地の女性たちによって支えられており、雇用の確保にもつながっています。

エプソンはスカーフなどの製作をデジタルプリント技術で支え、現地住民やNPOの継続的な収入の創出に貢献しています。

### 協働パートナー

- Bee2Be(NPO)
- Anna Fusoni氏(デザイナー)
- 地元の女性
- Epson de Mexico, S.A. de C.V.

### 具体的な活動

- 絶滅危惧種(メリポナ蜂)の保護活動と財源確保、雇用拡大に向けた活動主催
- 蜂をモチーフにしたスカーフなどのデザイン
- 現地での保護活動および物品販売、現地ガイド
- スカーフなどをデジタル印刷するプリンターの提供と技術支援

### 解決する社会課題と価値

#### 具体的な活動・アプローチ

財源や人員が不足する希少生物保護活動に対し、デザイナーなどとの連携により新たな価値を提供することで、周知活動と財源の確保を行うと共に現地メンバーの雇用、さらには新たな働き方の創出を行っている。

#### 価値提供ポイント

- 収益を伴う持続的な保護活動の実現
- 蜂をモチーフにしたデザインのスカーフなど、物品販売による新たなビジネスモデル創出
- 雇用確保と新たな働き方の提供



## ステークホルダーエンゲージメント

## 地域社会

## 地域社会との連携

-各地域の課題解決につながる価値創造-

## ■ タンザニア／World Mobileとの協業による質の高い教育環境の提供と新たな産業の立ち上げに貢献

## ■ 活動内容

発展途上国におけるインフラ整備課題に伴う学びの場や機会の欠如に加え、先進国においても教員不足の課題を抱えるなど、教育現場では多くの課題を抱えています。

Epson Europe B.V. (オランダ 以下EEB)は、2021年11月World Mobile Group (イギリス 以下WM)と共同し、アフリカの学校において質の高い教育環境を提供するためのプロジェクトを立ち上げました。WMが学校内のソーラー発電およびネットワーク接続環境を整え、EEBはエプソン製のインクジェットプリンターとプロジェクターを提供していきます。こうした連携活動を通じ、遠隔でも良質な教育環境を実現し、世界中の子どもたちが誰一人取り残されない、公平で質の高い教育環境の提供を目指しています。さらに学校という公共の場とネットワークの提供により、そこを中心に新たなコミュニティや産業の立ち上げへの貢献が期待できます。

## ■ 協働パートナー

- 電力／通信インフラ提供: World Mobile Group
- 行政: タンザニア教育相

## ■ 具体的な活動

- プロジェクターを使った質の高い教育、および先進国からの教育支援
- ネットワーク構築により、人が集まる新たな経済基盤の構築



WORLD MOBILE

## パートナー企業メッセージ

Micky Watkins

World Mobile Group, CEO

私たちは、学習、利益の獲得、あるいは人間としての成長といった機会が、生まれた場所によって決まってしまうとは考えていません。全ての人に等しく機会があると信じています。私たちのパートナーシップは、アフリカの人々にとって非常に有益な結果をもたらすでしょう。子どもたちはインターネットに接続された世界の一員となり、エプソンの技術を用いて質の高い教育体験を楽しむことができるからです。

## ■ 解決する社会課題と価値

## 具体的な活動・アプローチ

教育施設や、機器、さらに教員不足により十分な教育環境が整っていない地域に、ITを使った質の高い教育環境を提供することで、将来の地域振興の基盤となる人材教育を実現。

学校という公共の場とネットワークの提供により、そこを中心に新たなコミュニティや産業の立ち上げに貢献する。



## 南アフリカ／ Demo centerの開放とプリント技術指導により地域産業の振興に貢献

### ■ 活動内容

エプソン南アフリカは、地域社会の支援を目的として、大きな可能性を秘めた新たな活動を立ち上げました。

Retrain and Reimagine という名称が付けられたこの取組みは、新しい技能の習得を目指す個人を支援するための新たな活動です。南アフリカの失業率は32%を超えており、この活動によって、個人には有益な知識と経験が提供され、就業率向上や起業につながる事で社会に、より幅広い利益がもたらされます。

エプソン南アフリカは、現地の企業や教育機関と協力して、この活動を展開していきます。

また、南アフリカの印刷業界の連合であるPrint SAとの提携を通じて、印刷業界への就業を目指す個人が学習プログラムに参加する際の支援や補助も行う予定です。

### ■ 対象

- 学生
- アーティスト、デザイナー
- 起業家
- ビジネスパートナー

### ■ 具体的な活動

- 教育プログラムへの協賛
- Epson Demo centerの無料開放
- サイネージ、テキスタイル、フォトプリンティング
- 生産プロセスのノウハウ提供

### ■ 解決する社会課題と価値

#### 具体的な活動・アプローチ

深刻な失業率に陥っている地域で、学生、起業家、芸術家に対して、プリンティングに関する技術指導や、製品創出の場の提供、生産プロセスなどの知識を提供し、就業機会拡大、新たなビジネスや製品の創出を支援しています。

#### 価値提供ポイント

- 新たな製品や価値創出支援
- 新規ビジネス立ち上げ支援
- 技能習得による就業支援



## 長野県／自治体・観光施設と連携したトライアスロンの開催

### 活動内容

2022年6月長野県諏訪地域の自治体、商工会議所、長野県トライアスロン協会などが連携し、スワコエイトピークストライアスロン大会を開催しました。この大会で、エプソンはGPS・センサー技術を活用することで大会運営を支援しました。スポーツ大会で最も大切である安全・安心な運営を支援するため、転倒検知や位置情報を使い挑戦するアスリートを支えています。自治体や地域企業と連携しリピートにつながる楽しい大会にするとともに、地域の魅力を高め、地域振興にもつながる活動としてさらなる発展に貢献します。

### 諏訪地域ならではのスポーツツーリズム

RAKO 華乃井ホテル  
女将 白鳥 和美様



近年旅行に対するお客様のニーズや価値観が大きく変化致しました。

諏訪地域ならではの素材を活かしつつ新しい観光コンテンツが求められています。今回のイベントを通して「テクノロジー」「スポーツ」「観光」と異なった分野の連携により新たな観光コンテンツの創出に取り組んでおります。デジタル機器を使いお客様の安全を守る。その上でデータを活用し新しいサービスや楽しさを提供する。諏訪地域の魅力をより多くのお客様にも喜んでいただけるような「おもてなし」を提供したいです。

### 解決する社会課題と価値

#### 具体的な活動・アプローチ

多くの観光地では集客のための新たな魅力づくりに頭を悩ませています。スワコエイトピークストライアスロン大会では、エプソンのGPS・センサー技術を活用した大会運営に加え、取得データにより、別の日に同じコースで以前の自分や、目標とするアスリートとの競争ができるような仕組みを創りました。こうした仕掛けは、大会以外の日にもその地域を訪れる機会につながります。GPS情報と連動した観光案内や、走行距離や記録に応じたポイントと連動することで新たなサービスを創出し、地域内での消費行動にもつながる可能性を持っています。



## ステークホルダーエンゲージメント

## ビジネスパートナー／コンソーシアム

## 国際コンソーシアムとの連携

-社会課題解決につながる持続的な社会価値の共創-

## CSRヨーロッパ／欧州におけるサステナビリティ活動に参画

## ■ 欧州でのサステナビリティ活動をリードする

CSRヨーロッパは、欧州委員会 (European Commission: EC) のルールづくりに対する提言を行う団体で、企業や自治体、NGOなどのCSR活動を支援する、欧州有数のビジネスネットワークです。Epson Europe B.V.は、2017年9月にCSRヨーロッパに参加しました。2019年2月から常任理事として、業界でのネットワーク構築およびサステナビリティに関するルールづくりをリードし、持続可能な社会の実現と企業の持続的な発展の両立に役立っています。

**Henning Ohlsson**

Director Sustainability, Epson Europe B.V./  
Managing Director, Epson Deutschland GmbH/  
Member of the board of directors, CSR Europe  
Top 100 CSR Influence Leader



私は、法規制への遵守はもちろん、特にエプソンの商品・技術・ソリューションが持つ、持続可能性の実現に関わる価値を強化し、社会実装することを目的に活動しています。また、欧州を中心にグローバルな観点で、持続可能な社会の実現に向け、社内において当社のコミットメントを推進するための活動を主導するだけでなく、行政や地域社会を巻き込んだ活動も進めています。

お客様を含む全てのステークホルダーの皆様のためにも、当社の持続可能な社会の実現に向けた高い目標と活動が実現可能なものとなるよう、常に努力しています。